

# 令和4年度 豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略委員会 第3回会議 議事要旨

【日 時】令和4年（2022年）8月22日（月）18時00分～19時10分

【場 所】豊中市役所第一庁舎4階第1会議室

【出席者】石川委員、岸本委員、高橋委員、吉村委員、田村委員、古川委員、重長委員、濱田委員

【欠席者】なし

【事務局】榎本都市経営部長

都市経営部経営計画課：坂本、田中、島、久木、上田、松田

【傍 聴】なし

【案 件】1. 前回の振り返り

2. 第2期豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況の検証に関する答申案について

3. 第3期豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略（行政素案）について

4. その他

【資 料】資料1 第2期豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況の検証に関する意見等について

資料2 第2期豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況の検証について（答申案）

資料3 抜粋 第3期豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略

資料4 第4次豊中市総合計画後期基本計画（行政素案）

参考1 第2回豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略委員会 議事要旨

【会議録】下記のとおり

## ■開会

### ■成立要件の確認（事務局）

本会議規則第6条第2項の規定に基づき、会議成立には委員の過半数の出席が必要です。本日は委員総数8名のうち、8名の出席がありましたので会議は成立しています。また、本日の傍聴者は0名です。

### ■資料の確認（事務局）

### ■案件1. 前回の振り返り

会長

案件1「前回の振り返り」について、事務局からご説明をお願いします。

事務局

（資料1「第2期豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況の検証に関する意見等について」説明）

## 会長

ただいまの説明について質問、意見はございませんか。

## 委員

特になし

## ■案件2. 第2期豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況の検証に関する 答申案について

### 会長

続いて、案件2「第2期豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況の検証に関する答申案」について事務局からお願いします。

### 事務局

(資料2「第2期豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況の検証について(答申案)」  
について説明)

### 会長

案件1の「前回の振り返り」でみなさんからご質問をいただいた点も反映していただいていると思っておりますが、ぜひ、みなさんのご意見をいただけたらと思います。

ただ、答申書は9月末までに完成させる予定となっておりますので、本日皆様からご意見をいただき、反映について検討したいと思います。

### 委員

資料2の2ページ12行からの「～保育の質は担保されず、希望する保育所に入れるか、～」の一文について、希望の保育所に入れることが保育の質を担保することと読み取れてしまいますので、保育の質の確保と、保護者のニーズに応えることは文章を分けたほうがわかりやすいと思います。

### 委員

資料2の2ページ18行の「このデータは統計的に必要な数を確保して」について、「統計的に必要な数」を「統計的な分析に耐え得る数」などに変えると、より明確な表現になると思います。

### 委員

資料2の2ページ21行の「回答率の低下」について、これは以前よりもずっと下降しているということでしょうか。これまでも今回も低迷しているというようなイメージをもっていました。

### 事務局

調査は令和2年度からスタートしており、前年度に比べると低いとの意味合いで低下と表現しましたが、ご意見をふまえると違う伝わり方をする懸念もあると思いますので検討します。

## 会長

回答率の向上が課題ということかと思しますので、そのように文言を修正いただくこととしたいと思います。

## 委員

資料2の2ページ13行にあります「兄弟」については、ジェンダーの視点から、ひらがなで表現するようになってきています。ひらがなにするか、兄弟姉妹とするか検討いただければと思います。

## 事務局

修正いたします。

## 会長

もし、その他お気づきの点がありましたら、明後日ぐらいまでに事務局にご連絡いただきますようお願いいたします。

いただいたご意見をふまえて答申案としてまとめていきたいと思しますので、明後日以降、私と事務局に一任いただくことでご理解をお願いいたします。

## ■案件3. 第3期豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略（行政素案）について

### 会長

それでは、案件3「第3期豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略（行政素案）」について説明をお願いします。

### 事務局

（資料3「抜粋 第3期豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略」説明）

### 会長

第3期豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、第2期総合戦略同様に、総合計画のなかでも人口減少・少子高齢化に歯止めをかける施策に重点をおいて推進するものです。当委員会においては総合戦略の進捗管理を行っていくこととなりますが、総合計画の施策のうち総合戦略の具体的施策として選択されている項目やKPIについて、追加、修正、またお気づきの点、よくわからない点がありましたらご意見ををお願いします。

1点質問ですが、資料3の15ページ、第4章のKPI「大阪府「男女いきいき・元気宣言」市内事業所登録数」について、13社から43社と、令和9年度までに30社しか増えない目標となっておりますが、あるべき姿からすると、この目標設定でいいのだろうかと感じます。女性の雇用、男女の問題などは当たり前のこととして議論されている必要があるかと思えます。おそらく何らかの指標に基づいて設定されていると思いますが、そればどういったもののでしょうか。

## 事務局

この指標を設定した背景はあらためて確認いたします。また、大阪府の制度もありますが、市独自でこういった取組みをされている企業の登録制度を創設しようと動いており、今後強化して周知していくと担当課から聞いています。ただ、目標値が低いとのご指摘はあるかと思しますので、そこは確認させていただきます。

## 委員

資料3の3ページ、1-(3)において「第3期豊中市総合戦略は、第4次総合計画の中から、特に少子高齢化や将来的な人口減少に歯止めをかける効果が高い取組みに重点を置いて施策を推進するものです。」とあり、これが今回の肝であるとの説明があったかと思えます。それに対して、例えば、15ページの第4章KPI「とよなか音楽月間の参加人数」は、「特に少子高齢化や将来的な人口減少に歯止めをかける効果が高い取組み」にどうつながるのでしょうか。

全体的に、「すてきなまちをつくれれば自然に人口は増えていく」との考え方に安易に寄りかかっていないだろうかと思えます。

## 会長

本質的に何を議論しなければならないのかをご指摘いただいたと思えます。ただ国で行うことと自治体で行えることでは当然差があるとは思いますが、自治体でできることのなかで、より本質に近づくにはどうしたらいいのかというように受け止めさせていただいたほうがいいだろうと思えます。

## 委員

日本の自治体でもそれぞれ努力されていて、その中には奇跡的に成功されているところがあります。それが瞬間なのか長期に渡って成功できるかは見つけ続けていく必要がありますが、せめてこの瞬間でどこが成功しているのかという知識を我々が共有することが重要だと思えます。例えば北海道という人口増加が困難と思われるエリアで、日本中から人が集まってきて、家を買って、そこに住み着いて、人口を増やしているところがいくつかあります。そういったところを学習してもいいのではないかと思います。

## 会長

以前に、社会人口増はゼロサムゲームだろうとのご指摘もありました。自然人口増をめざすと、施策優先順位のつけ方は何かを考える必要があるかと思えます。

おそらく事務局も議論された上でまとめられているかと思えます。どのような考え方で、どのような議論を経てこうなったかについて、次の機会にお話いただくということでしょうか。市の立場からは当然自然人口増だけでなく、今住んでおられる方に住み続けていただくために何が必要かということもあり、このようにまとめられているかと思えます。総合戦略の具体的な施策としてなぜこれを選択したか、どのようにこれを達成していこうとしているかを聞かせていただけたらと思えます。

## 委員

今の時代、おばあさんやおじいさんから日常的に引き継ぐといった生活がほとんどない社会になり、女性の初めての出産にはいろいろな不安が山のようにあると思います。例えば、それに対して、豊中市の産婦人科等の方々が出産しようとする女性たちを、いろいろな角度から日常的にフォローアップできる体制はつくれないでしょうか。あるいは、優れた産婦人科医、何か新しいことを考えている産婦人科医を豊中市に集め、それを核として、豊中で子どもを産めば何歳になっても医療的手当て・ケアが受けられるような事例をつくり上げることができないでしょうか。

千葉県の流れ山市の事例で、駅に子どもをケアする人がいて、子どもを預けたら保育園や幼稚園などに連れて行ってくれる取組みがあります。人口を増やすための具体的な手立ては無限にあると思います。そういった具体的な手立てに向かうのではなく、よいまちにしましょうといった方向に向かうのがまどろっこしく感じます。

## 会長

ごもっともなご指摘かと思えます。それでは、次回会議で事務局から、なぜこの具体的な施策や指標を選択したのかなどについてお話いただければと思います。そのなかで、もし違うとの議論があれば修正をかけていきたいと思えます。

## 委員

淡路島の例ですが、2年前にパソナが本社を移転し、従業員も住むようになり、北部を中心に人口が増えています。その影響か西海岸沿いのお店が並び、休日には観光客が列をなしていました。大きな行動を起こすことでそこに住む人が増えますが、そこに住み続けるためには、安心安全、もしくは文化的な楽しみといったものもないと困るだろうとも考えますので、具体的な施策を行った結果を測る KPI は示されている指標になるだろうと理解しています。ただ、なぜこうなったかという説明については、次回お聞かせいただきたいと思えます。

## 委員

音楽は豊中でははずせない、特色として打ち出したいとの思いはよくわかります。ただ、これらはコロナ前の考え方であって、総合戦略に入っていない項目、地域医療、生活衛生などのほうが今は関心が高まっているだろうと思えますので、この時期の指標の立て方はなかなか難しいと感じます。医療体制などのロコミは強力で、すぐみなさんに伝わっていきます。その点、豊中はワクチンカーなどアピールがうまくできたのではないかと思いますし、体制の整え方の速さなども安心できる点かと思えます。文化的な面も大事ですが、今は直接生活に関わるころへの関心が非常に高まっている時期だろうと思えます。

## 委員

豊中市の行政の施策はすばらしいと常々思っています。人口も微増しており、これまでの施策は間違っていないだろうと思えます。ただ、細かい良い施策をしていることのアピールをもっとうまくできるといいのではないかと思います。

## 委員

KPI の目標設定について、高い目標を設定されているもの、達成できそうなところを目標にされているものなど差があるように思いました。ただ、市民意識調査の集計結果を KPI の項目として多く採用するのではなく、それ以外の市政における具体的な項目を設定されているのは良いことだと思います。

KPI について、重要度が違う気がしますので、各章の中で、これとこれは重要、これは簡単な目標として追加といったようにランク付けして考えたほうがよいと思います。

資料 3 の 13 ページ、第 3 章 KPI 「市内の各駅乗降客数（一日平均）」は、電車に乗って訪れたい魅力的な施設など具体的なことがあって増えるものだと感じており、関係人口に関わる重要な指標だと思いますので、こだわってもよいのではないかと思います。

## 会長

目標値は担当課で何らかの根拠を持って設定されていると思いますので、伝え方を考えていかなければならないと思います。また、必須 KPI、これは外せないといった KPI がそれぞれの章にあって、それを補完するための KPI があるほうがわかりやすくなるかもしれません。参考にさせていただいて整理を進めていきたいと思います。

## 委員

資料 3 の 5 ページ「(5) 基本的な考え方と進め方」の内容と、各章で選択している具体的施策及び KPI との関係性が一致していないため、混乱している点があるかと思います。

5 ページ「(5) 基本的な考え方と進め方」の説明文中、「交通利便性の良さに加え、住環境、教育環境、子育て環境を充実させること」とあり、これらについて、めざすべき KPI を設定することになると思います。この KPI が住環境のよさにつながる、教育環境、子育て環境につながると理解できると腑に落ちると思います。住環境、教育環境、子育て環境を充実させる大きな目標があって、それぞれの章があり、それぞれの章の項目と KPI がどうつながっているかをツリーのように整理されると理解できるのではないかと思います。

KPI を多く出すより、重要な KPI だけを提示するのでもよいのではないかと思います。KPI を多く出されても何を見ればよいかわからないということになると思います。用語集をつけることでしたが、理解できない言葉が非常に多く、読むにあたって毎回用語集をめくることとなり、読み手の負担も大きいと思います。

また、5 ページ「(5) 基本的な考え方と進め方」に、住環境、教育環境、子育て環境が入っていますが、これからの時代は、住み続ける、住みたいと思えるために「安全安心」がキーワードとなるだろうと思いますので、安全安心も入れて、それを測る KPI も必要かと思います。

## 会長

安全安心は、第 2 章に関わる場所かと思いますが。ご意見のとおり、優先的 KPI がみえるほうがわかりやすいと思います。

## 委員

資料3の7ページ、「第1章 子ども・若者が夢や希望をもてるまちづくり」については、すべて総合戦略の具体的施策として選択されていますが、KPIがどの戦略と合致しているかの読み取りが難しいです。取れる指標が限られている中から選択されているかと思えますし、希望どおりに対応するKPIをつくるのは難しいと思えますので、どの目標とどの指標が合致しているか、この指標が達成するとこの目標をクリアしているといったことがわかるようになっていこうがよいと思えます。なぜこの指標なのか、これが達成すると本当によくなっているのかとの疑問がどこまでも出てきてしまうだろうと思えますので、つながりがわかるようになると納得感が出てくるのではないかと思います。

例えば、7ページで「確かな学力・体力の向上を育む教育の推進」が総合戦略の具体的施策として選択されていますが、それを測る指標はありません。第1章のすべての施策が総合戦略の具体的施策として選択されていますが、振り返りはしないというようにも読み取れてしまいます。提示の仕方は難しいと思えますが、なぜそれを選択したかの背景も含めてつながりがわかるものがあるとよいのではないかと感じます。そうすると、こちらのデータのほうがよいのではないかなどの議論もできるのではないかと思います。

## 会長

今回、総合計画と総合戦略をひとつにしており、まとめづらい苦労も事務局はあるだろうと思えますが、今ご指摘いただいたことをうまく活かして整理してもらえたらと思えます。

## 会長

以上で、第2期総合戦略の進捗状況の検証に関する答申案と、第3期総合戦略についての審議は終了します。全体についてご質問、ご意見などがあればお願いしたいと思えますが、いかがでしょうか。

## 委員

特になし

## ■ 5. その他

### 会長

最後に、案件5「その他」をお願いします。

### 事務局

(連絡事項「今後の日程について」説明)

### 会長

本日の案件はこれで終了しました。これをもちまして「第3回豊中市まち・ひと・しごと創生総合戦略委員会」を閉会いたします。